

◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

1、字句「四時無形」

2、形式「半紙タテ使用。右に「四時」、左に「無形」と臨書し、左余白に「〇臨」と調和を工夫して書き入れる。

3、概観「行書の特徴について考えてみよう。字体の変遷は、書く速さによることとはよく言われるところ。草書は、速さを極限まで追求したことによりできた書体です。行書は、楷書の読み易さと草書の速さを併せもつ書体で、一般的には一番使用頻度が高い書体だと思えます。また、行書は楷書のような堅苦しさがなく、変化に富んでいるので、書表現の素材として取り上げられる場合が極めて多い。

○楷書との比較  
・楷書は直線的であるが、行書は曲線が多い。  
・楷書は一点一画はつきり書かれるが、行書は点や画が続いており、連綿線・意連綿となり、虚画が実画となって表われる。

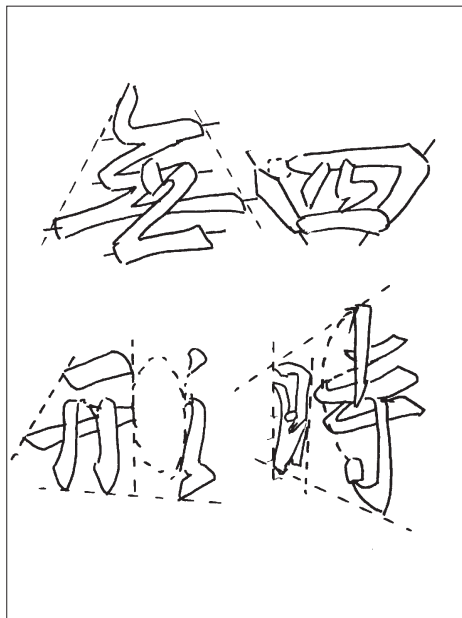
4、各字のポイント

四 一・二画目の縦画は下すばまり。二画目は一画目と離して入筆。明るさを表出。

時 偏を狭くすることにより、傍の大きさが増大される。傍の書き順「土」の縦画は最後に。

無 三本の横画と、それを繋ぐ連綿線の長さ・方向に留意。縦画は二つに省略。

形 二画目は左に大きく張り出すことにより字幅をとる。偏と傍の間を広く取り、全体として横広の形となる。



集字聖教序・王羲之

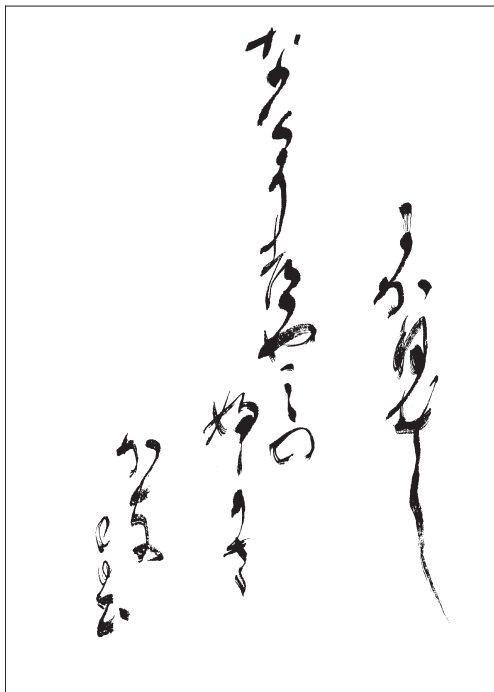
半紙課題(予告) (七月二十二日締切)

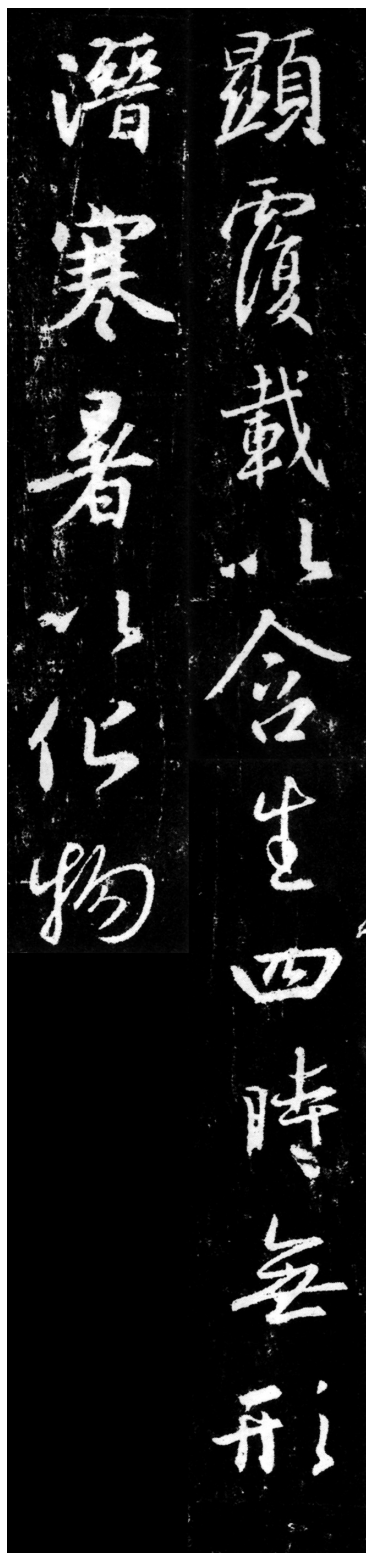


平岡華雪先生書 至理無言

訳：理の絶対境に至っては是非の言をいれる余地なし。

平岡華雪先生書 しがねむしなげうつ闇の深さかな(虚子)





顯覆載以含生 四時無形 潛寒暑以化物

覆載に覆われて以て生を含む。四時には形無く、寒暑に潜みて以て物を化すと。

天地自然の万物は、生成生滅といった現象を繰り返しているのである。ところで、四季の移り変わりには、明らかな形跡が見取れない。また、暑さ寒さといった温度の変化も目に見えないが、(やはりこちらも徐々に変化をもたらす力を持っている。)

※随意部参考(半紙・条幅)としてもご利用下さい。抜粋可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

## 一字書 (六月二十二日締切)

課題

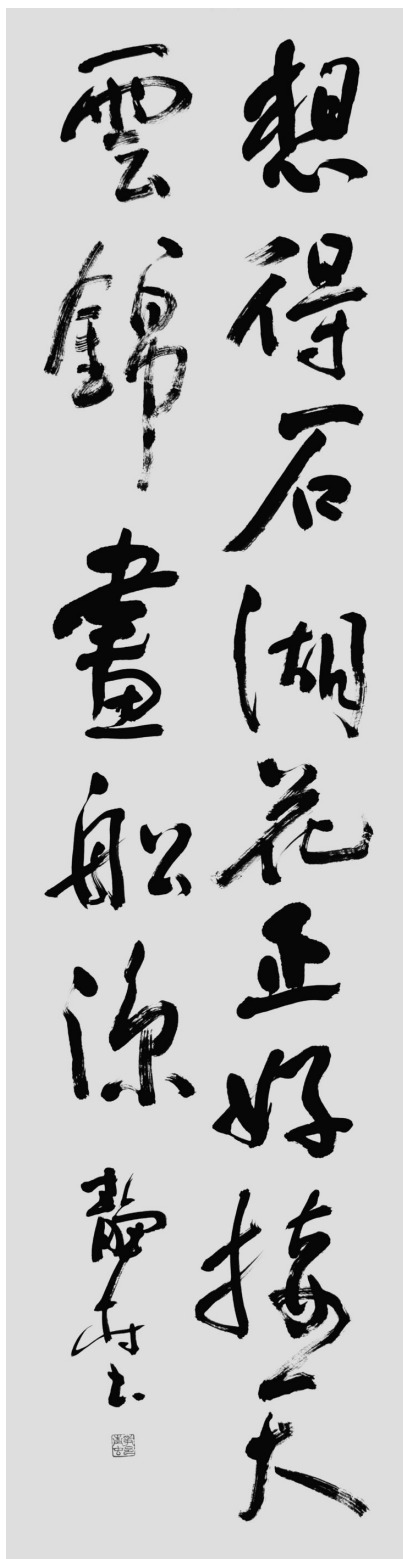
# 碧

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に  
一字と記入 段級は無記入

A

鈴木静村先生書

想得石湖花正好 接天雲錦畫船涼 (范成大)  
 想得たり石湖に花正に好く、天に接する雲錦に画船涼しきを。



B

高橋香樹会长書

渴筆表現は「潤渴」といって、条幅作品のポイントの一つ。渴筆部分にも活きの表われがほしい。枯れ木的では死線に等しい。墨継ぎは「正・畫」想 含墨多い場合の「布白」(余白のとり方)に留意。白い窓をつぶさない。石「口」接筆を離して明るさを。正 縦画の接筆浅く。雲 何紹基を拝借。畫 一・二画面の余白広めが字形のコツ。涼 旁に安定感。



半切二行書は、一行目八字、二行目六字に書くのが一般的で、私もほとんどそのようにしてきましたが、今回は一行目九字、二行目五字にて試みてみました。一行目九字ですと、文字の大小をつけやすく、二行目で懸針を長く伸ばすことができ、変化多い作となりました。墨継ぎは「正」と「畫」です。

訳：わが愛する石湖の花もさぞよかろう。きっと蓮の花が美しく咲き、空をおおう朝焼けのもと、美しい船が涼しく浮かんでいることだろう。

予告 (七月二十二日締切)

野寺訪僧歸帶月

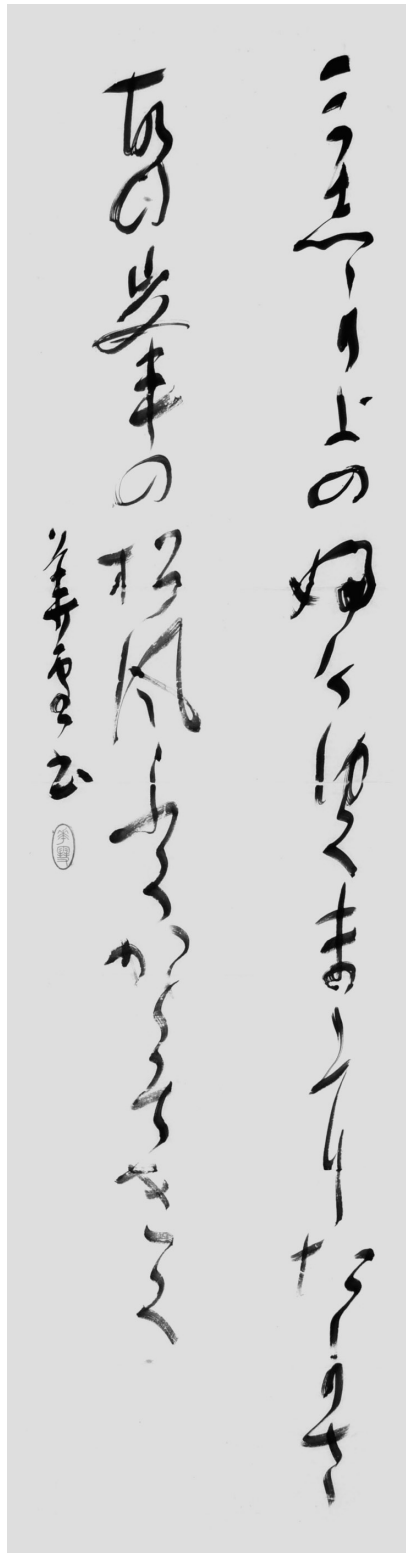
芳林携客醉眠花 (鮑溶)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

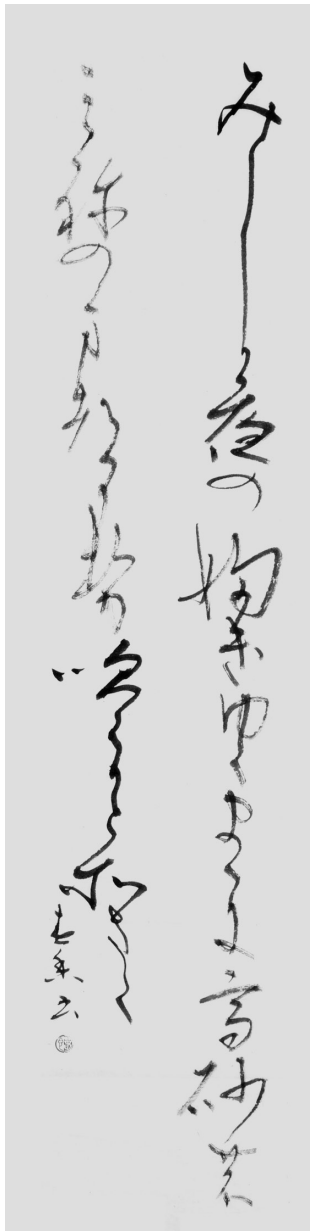
みじか夜のふけゆくまゝに高砂の峰の松風ふくかとぞ聞く  
 (後撰和歌集 藤原兼輔朝臣)



B

石原春香先生書

みし可夜の婦遣ゆく末ゝ尔高妙農三祢の万都可勢吹く可と所支久



後撰和歌集 「古今和歌集」に次いで第二番目の勅撰和歌集。村上天皇の勅命で大中臣能宣・清原元輔・源順・紀時文・坂上望城の五人の撰。古今集に採り残された貫之・伊勢以下情趣的な歌が多い。

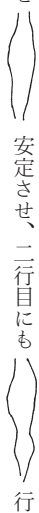
学び方

昨今のかな作品には“ゆれ” “デフォルメ” “うねり” などが多くみられ一寸やりすぎかなと思うものがふえて来ています。

平岡先生の作品には背広にネクタイとゆるぎない品格が見られます。私的には、ややかたさを感じます。Bの私の作品は一行目の「夜の婦遣」で行にふくらみをもたせ

のゆれと字幅をもたせ、動きを出してみました。

安定させ、二行目にも



予告 (七月二十二日締切)

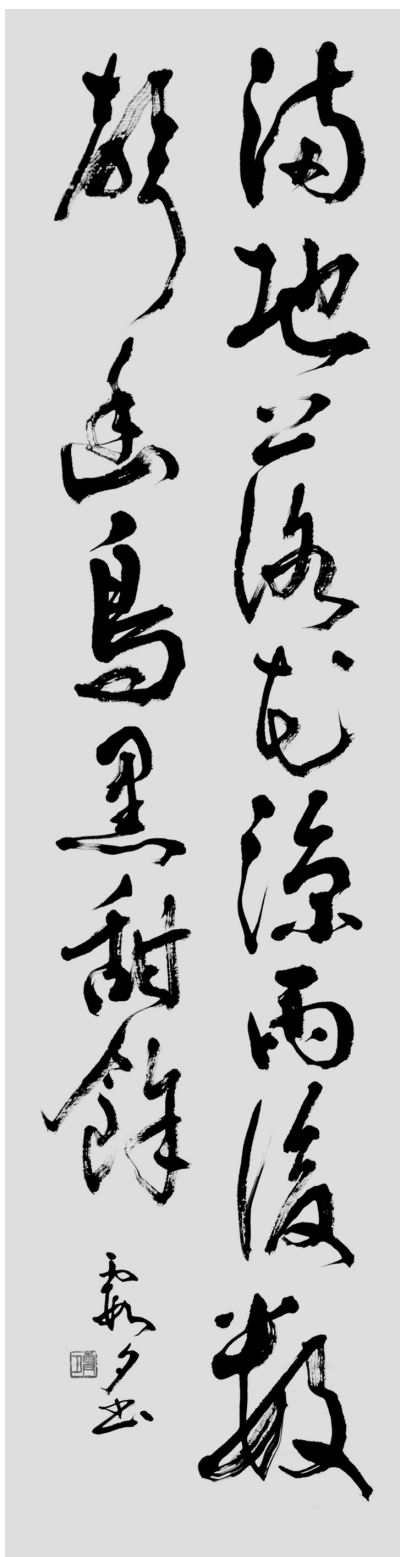
夏ながら葉の散り落つる梅の木の下への窓に一人して居り (島木赤彦)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

外川霞夕先生書

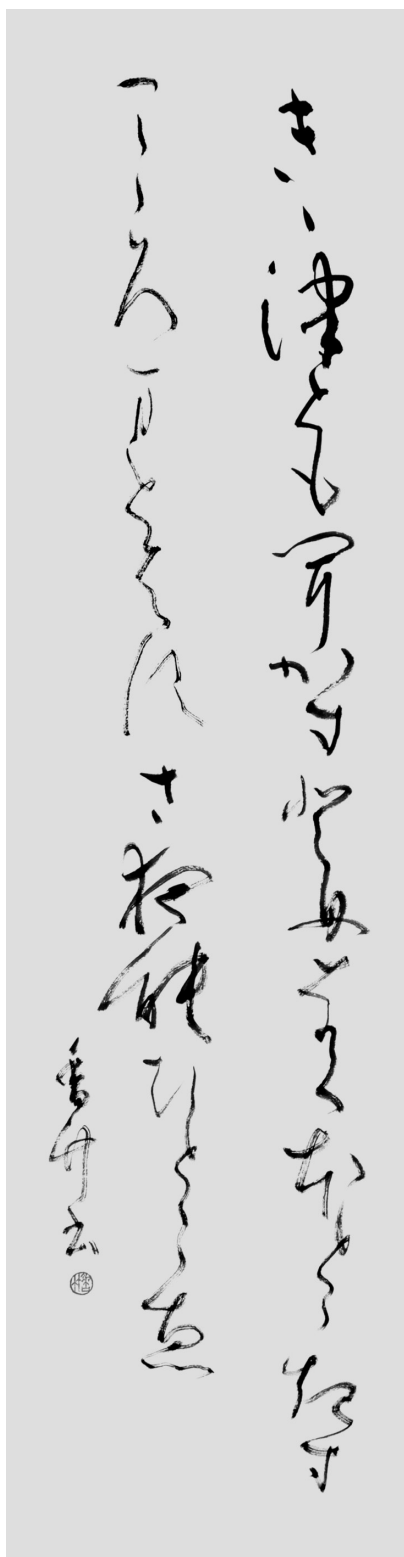
満地落花涼雨後 數聲幽鳥黑甜餘（許恕）  
満地の落花涼雨の後、数声の幽鳥黑甜の余。



訳：地上一面の落花は淋しい雨の後で、二声三声鳴く鳥は午睡がさめた時である。

青柳香竹先生書

きつともきかずともなく郭公心まどはすさ夜のひと聲（後拾遺和歌集 伊勢大輔）  
きつとも聞か寸登母奈久本と、起すころ万と者須さ夜能ひとこ恵



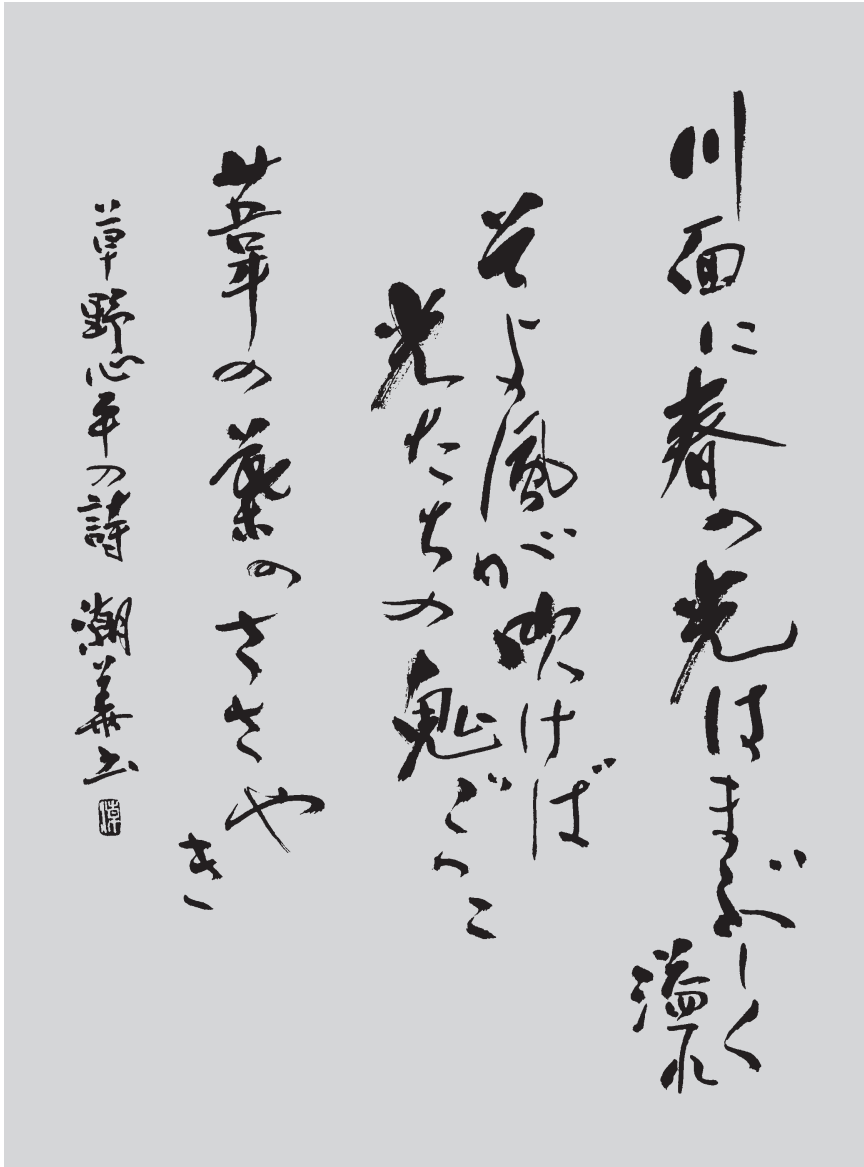
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
  - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

## 水貝潮華先生書

川面に春の光はまぶしく溢れ  
 そよ風が吹けば光たちの鬼ごっこ  
 葦の葉のささやき

草野心平「富士山」より

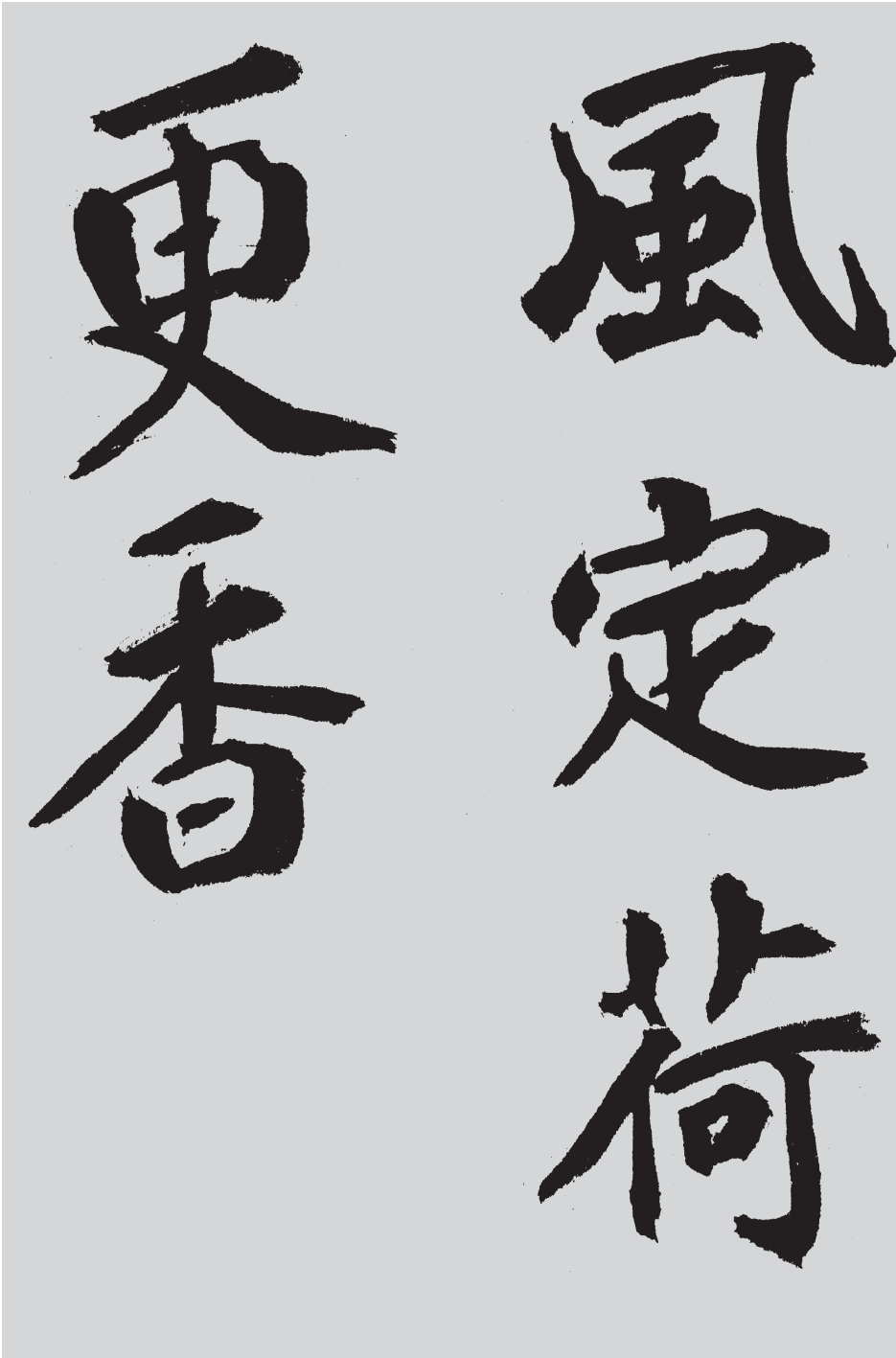
今回は文字の「寄せ」を使った作品づくりをしてみました。一行目のように長い文  
 章の場合は「まぶしく」を少し右に寄せ、出来た空間に「溢れ」を書き添えます。ま  
 た、二・三行目はお互いに寄り添うように文字の揺れに従い、出来た空間に文字をは  
 め込んでいきます。このように「寄せ」を使って長い文章を処理していくと一体感が  
 生まれます。



草野心平（一九〇  
 三〜一九八八）  
 詩人。福島県生  
 まれ。原始的生命  
 感覚を鋭敏に形象  
 化する作品を発表  
 詩集「第百階級」  
 「定本蛙」「マンモ  
 スの牙」などがあ  
 る。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

風定まって荷更に香し。(陸游)  
 訳：風吹きやんで蓮花はひとしお香しい。

〈基本用筆の鍛練を〉  
 「風構え」「ウ冠」「草冠」「右払い」「たてばね」「鳥啄」(香の第一画)等、基本的・基礎的用筆が多い課題です。十分に深めて、体得されることです。意識をもって取り組むと効果的です。

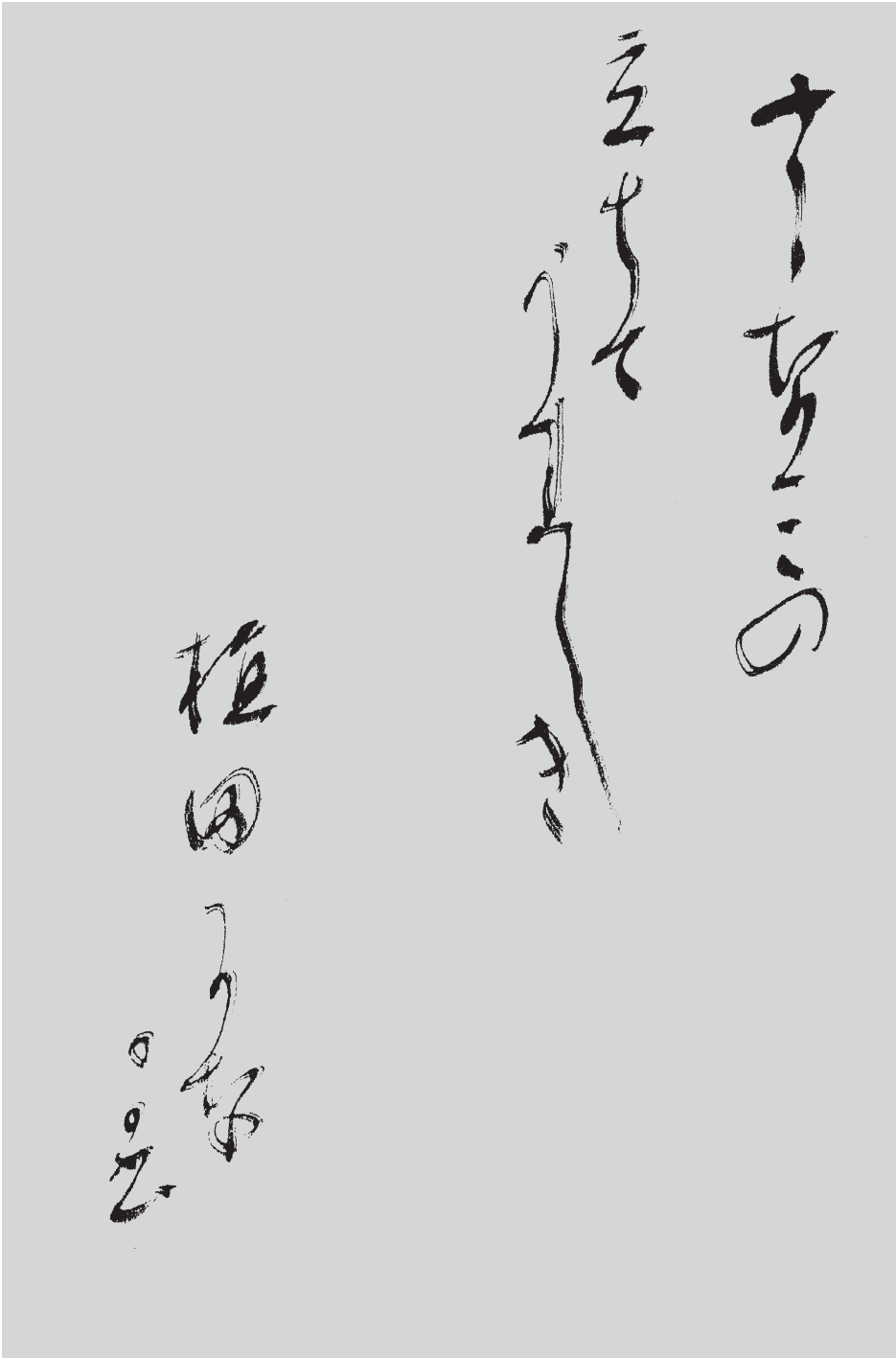


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

小波さなみの立ちてうれしき植田かかなな (素十)  
 さゝ奈三なみの立ちてう連れしき植田かかなな



〈踊り字について〉

「さゝな三」の「ゝ」。このような『踊り字』に活いきを表出することは、なかなか至難。初歩段階では特に悩みの一画、この画は引いたらダメ、軽く弾はじく用筆。要は、前字からの筆調を承け、小さく弾ませ「な」の一画目へ。点は踊り字に限らず、弾ませる用筆に習熟すると、活いきのよい小画が表出できる。

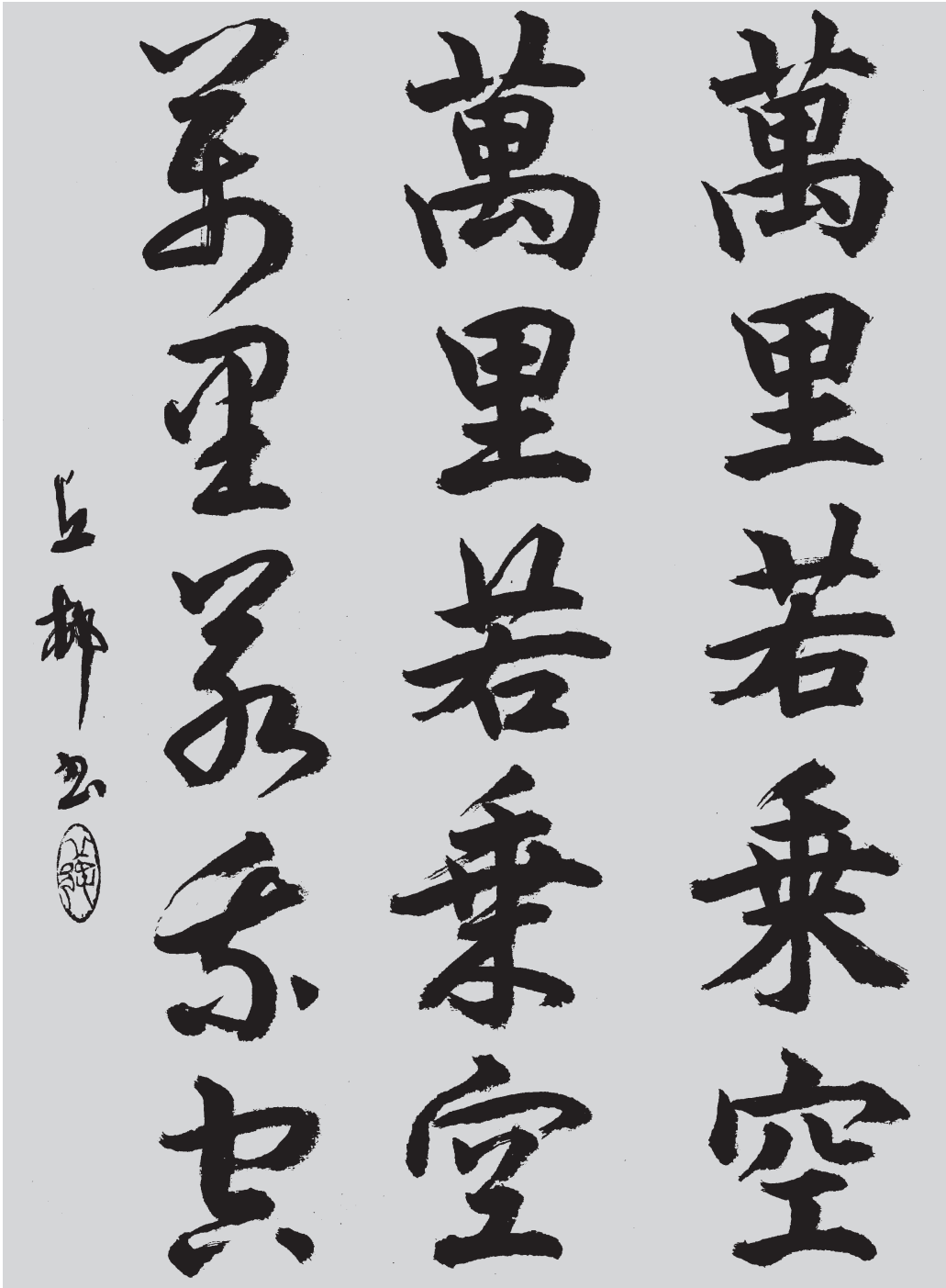
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



戸張丘邨先生書

萬里若乘空（王維）  
萬里ばんり空くうに乗しょうずるが若ごとし

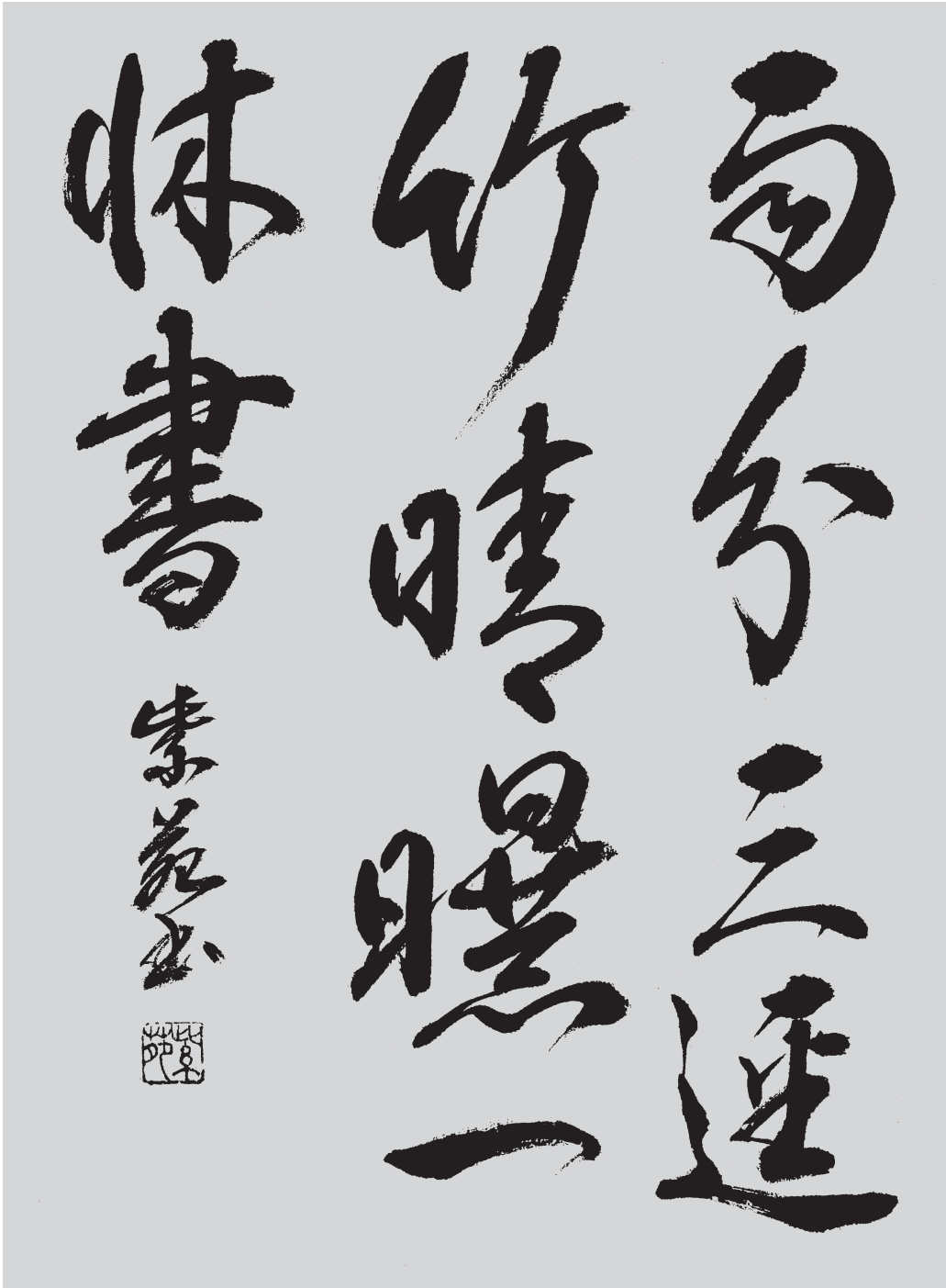


訳：そこへ帰る万里の旅路は、虚空を踏んで行くような、はるかなものである。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

山田紫苑先生書

雨分三逕竹。晴曝一牀書。(李因)  
雨は分つ三逕の竹、晴に曝す一牀の書。



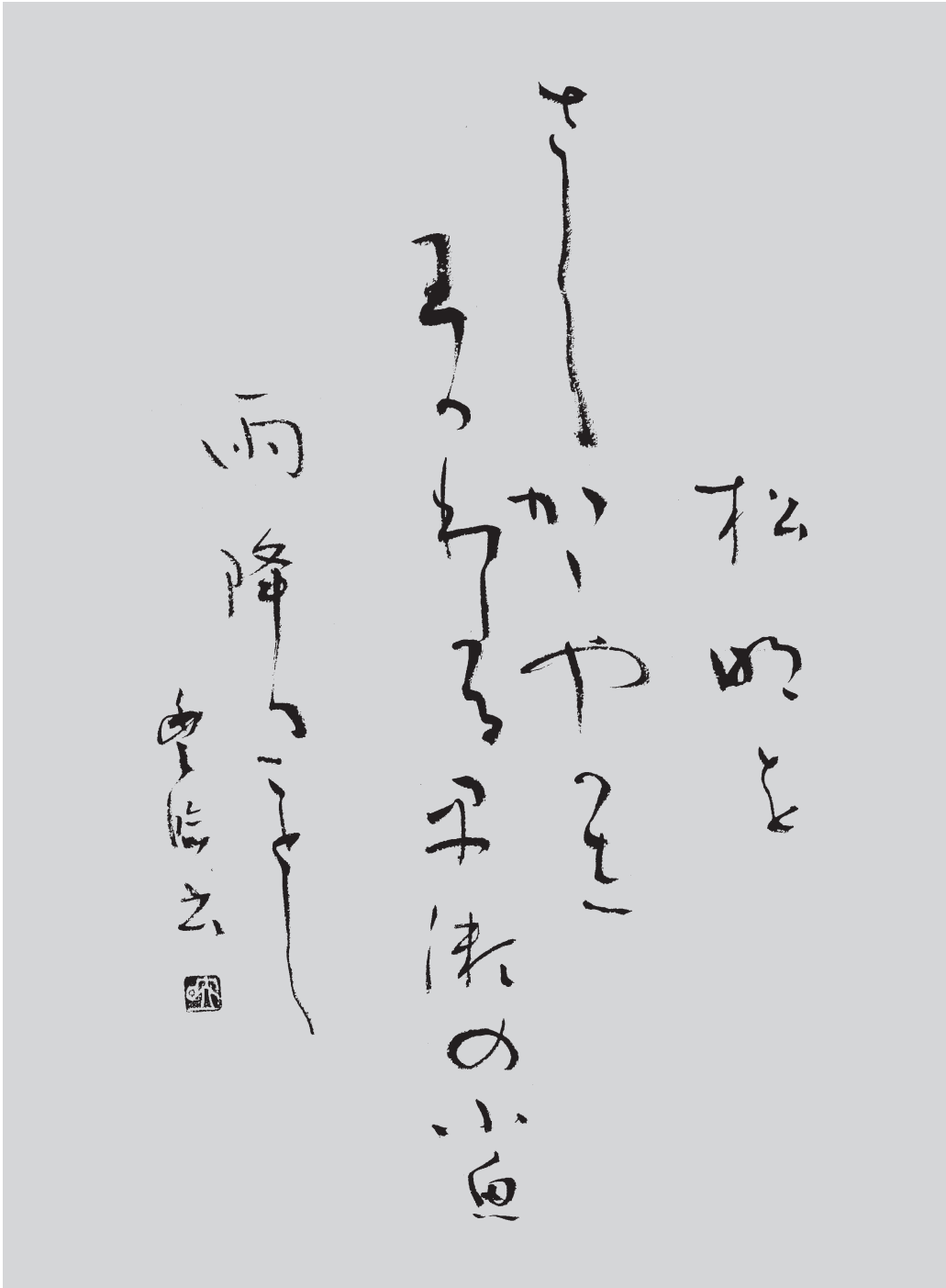
訳：雨降って三逕の竹の緑はわけて清いが、晴天となつては一牀の書物のむしぼしをする。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

吉原豊臨先生書

松明をさしかがやかしわが渡る早瀬の小魚雨降ることし（若山牧水）  
松明をさしか、やかしわが、渡る早瀬の小魚雨降ることし



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

稲畑 穂先生書

石原 春香先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)

お燭をせず氷も入れず、たゞ人肌の  
温度で飲む。舌にも咽にも馴染ん  
で、じんわりと拡がった。

建国創業の際には若い世代が活躍  
する。だが、その中核人材が揃って  
十代だったというのは、世界の歴史  
にも珍しい。

課題 1 (初段階以上)

建国創業の際には若い世代が活躍する。だが、その中核人材が揃って十代だったというのは、世界の歴史にも珍しい。

「世界を創った男 チンギス・ハン」  
堺屋太一

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題 2 (初段階以下)

お燭をせず氷も入れず、ただ人肌の温度で飲む。舌にも咽にも馴染んで、じんわりと拡がった。

「飛水」 高樹のぶ子